

【遊びの経過】

友達との砂遊びの中で、砂山の大きさや形、かたさなどについての気づきや発見を共有し、変化させながら力を合わせて作ることに楽しさを感じてきた。さらに砂遊びに水を加えることにより、よりダイナミックな遊びになることに気付いた子どもたちの間で、川作りが広がっていった。

【ねらい】

砂や水の感触を楽しみながら、友だちと工夫して遊ぶことを楽しむ。

★ナイロン袋、スコップ、水運び用バケツなど十分な数を準備する。

★川作りでは、いろいろと試すことができるように、といやペットボトルなどを準備しておく。

○山や川作りをし、どのようにすれば水が流れるのか考えたり試したりする。



大変、山が崩れる。【切実感】

スコップで叩いて固くしよう。【発見思考】

片方を高くしたら水が流れやすいよ。【驚き】【発見】

といから水が漏れるよ。どうしよう。【工夫】

- 子どもが楽しんでいる様子や思いに共感しながら保育者も一緒に楽しみ遊びを盛り上げる。
- 一人一人の発見や工夫を大切に受け止め、周りの友だちにも知らせることで、遊びの楽しさが共有できるようにする。
- 思うようにいかなかったり、どうしていいか分からなかったりする子どもには、周りの友だちの様子に目を向けられるように声かけをして、意欲がもてるようにする。

○水がたくさん溜まるよう考えながら池を作る。



どうしたら池にきれいな水が溜まるのかな。【試行錯誤】

ナイロンを敷いたらいいかもしれない。【発見】

水が溢れないように堤防を作ろう。【試行錯誤】【提案】

ナイロンが動かないように砂で押さえよう。【工夫】

- 子どもたち同士で意見を伝えあいながら遊びを進めることができるように見守り、声をかける。
- 子どもたちが自分たちで発見したり試したりできるように、スコップなどいろいろな用具を準備しておく。
- 気づきを大切に、しっかり認めたり、共感したりして自信につなげる。

○どうしたら水をこぼさずにたくさん汲めるか考え、友だちと一緒に水を運ぶ。



池に水がたくさん溜まったよ。【満足感】

どうしたらたくさん水が溜まるかな。【試行錯誤】【共通の目的】

もっといい方法はないかな。【思考】

- 工夫している友達の様子を紹介することで、それぞれが自分の考えを深めたり、広めたりできるようにする。
- 友達と協力して、水を運ぶ姿を認め、一緒に取り組む楽しさや達成感を味わえるようにする。

【考察】

砂という柔らかい素材を使い、成功と失敗を重ねる中で、驚きや発見の姿とともに、考える力や試行錯誤する姿が多くみられるようになってきた。また、様々な用具を使って工夫し、友達と協力して作り上げる喜びや感動体験も経験できた。この経験をもとに、更に遊びが深まるような保育者の援助や環境の構成を工夫してきたい。